

琉球トラウマナイト TALK SHOW 沖縄不思議ザダン怪

2025年5月18日(日)18:30 開演 会場：那覇文化芸術劇場なはーと 大劇場

沖縄の御願行事

御願（うがん）行事・・・沖縄に残る多くの行事や御願はいまも、旧暦で行われます。旧暦は自然の移ろいと切ってもきりはなせないもの。人は暦をヒントに自然をよみながら暮らしてきました。「暦＝自然」「暮らし」「御願・行事」は一体なのです。沖縄では昔から、おばあちゃんをはじめとする年長者たちが「暮らしのしきたり」を伝え残してきてくれました。その基本にあるものを表しているのが、こんな黄金言葉。

「神をおそれるということは、もの習いの始まり」

[神思(かみうす)りーしえー、物習(むんなれー)ぬ元(むーとう)]

神を「自然」といい換えてもいいかもしれません。おばあちゃん曰く、「目に見えるものでも、見えないものでも、自分以外のものを敬うのは大事なことだよお〜」。この教えを日々暮らしのなかで行ったのが「御願」であり、「行事」なのです。

★御願の心得

その①基本は「和」を持って過ごすことの大切さに気づき、感謝の気持ちを持つ。これが沖縄らしい「御願」のあり方です。

その②御願は自分自身の「目標」。「御願をする」ということは、自分自身が「目標を掲げる」ということ。つまり、御願には己の努力がつきものなのです。

暮らしのなかの主な旧暦行事

	日にち	行事・御願	内容	掲載ページ
毎月	旧暦1日・15日	ヒヌカンの1日・15日	月に2回、お供えものを替えてヒヌカンに手を合わせる	12 110
	1日	正月(ショウグウチ)	若水を神仏に供える。人も飲んで若返りをはかる	28
旧暦1月	2日~13日	年頭の健康祈願(マドゥ・トゥンビー)	年初めの生まれ干支の日に行う健康祈願	32
	2日~5日	ハチウクン(初廻こし)	新年の仕事始め。豊作や豊漁を祈願する	—
	4日	ヒヌカンのお迎え	天からヒヌカンが帰ってくる日。今年の願いごとをする	31 114
	7日	ナンカヌスク(七日節句)	菘雑炊(ナージュージー)を神仏に供え、食べる日	34
	15日	小正月	神様とともに過ごす正月最終日	34
	16日	ジュルクニチ(十六日)	墓前で祝うあの世の正月	36
	20日	ハチカショウグウチ(送り正月、終わり正月)	正月の終了日。この日までに正月飾りを片付ける	34
旧暦2月	1日~10日	二月の豊敷の御願	家と土地の神々に、今年上半期の平穏を祈願する	38 118
	15日	二月ウマチー	妻の初穂祝いと豊稔祈願	40
	上旬	シマクサラシ	集落に結界を張り、ヤナムンを撃退する	42
新暦3月 20日前後		春の彼岸	春分を中日とする先祖供養の行事	47
	3日	浜下り(ハマウリ)	女性のお祭り。浜で遊びをし、潮干狩りを楽しむ	44
旧暦3月 新暦4月5日 頃から2週間	15日	三月ウマチー	麦の収穫祭	—
		シーミー(清明祭)	親族が墓地に集い、先祖供養をする行事	48
旧暦4月	14日~15日	アブシバレー	田畑の害虫を退治し、海に流す	52
旧暦5月	4日	ユツカヌヒー(四日節句)	ハーリーで豊漁と航海安全を祈願	54
	5日	グンクワチ・グニチ(五月五日)	アマガシを食べて、健康祈願と厄払いを行う	56
	15日	五月ウマチー	稲の初穂祝い。イナグヌ・ウマチー(女のお祭り)	58
旧暦6月	15日	六月ウマチー	稲の収穫祭。綱引きなどで賑やかに過ごす	60

	日にち	行事・御願	内容	掲載ページ
旧暦6月	25日	六月カシチー	新米でカシチー(強飯)を作り、豊作の感謝をする	61
	中~下旬	綱引き行事	賑やかに過ごし、厄を祓う	—
旧暦7月	7日	タナバタ(七夕)	お墓の掃除をし、お盆の案内をする	66
	13日	旧盆・ウンケー(精霊迎え)	里帰りした先祖をお迎えする	68
	14日	旧盆・ナカビー(中日)	1年ぶりに戻った先祖と楽しく過ごす	70
	15日	旧盆・ウークイ(精霊送り)	あの世に戻る先祖を見送る	71 72
旧暦8月	8日	トーチー	数え88歳の長寿祝い	74
	8日~11日頃	ヨークビー(妖怪日)	あの世に帰りそびれたヤナムンを撃退する	77
	10日前後から2週間	八月の豊敷の御願	今年後半の平穏を土地と家の神に祈願する	76 118
	10日	シバサン(熊差し)	ゲーンを挿してヤナムンを撃退する	76
	10日	赤カシチー	小豆を入れたカシチーを作り、豊作に感謝する	61
	15日	十五夜(ジュークヤー)	八月踊りや棒術、獅子舞などを奉納する	78
新暦9月 20日前後		秋の彼岸	秋分を中心とする先祖供養の行事	47
	7日	カジマヤー	数え97歳の長寿祝い	80
旧暦9月	9日	菊酒(チクザキ)	菊の葉を浮かべたお酒を飲んで家族の健康を祈願する	82
旧暦10月	1日	カママーイ(燗廻り)	集落で団結して行う火災予防の行事	86
新暦12月 20日頃		トゥンジー(冬至)	トゥンジージュージーを食べる	87
旧暦12月	8日	ムーチー	ムーチーを作って、子どもの健康祈願	88
	中旬~24日頃	十二月の豊敷の御願	今年1年の感謝を伝えるお礼参り	90 118
	24日	ヒヌカンの昇天	家族の1年を報告するため、ヒヌカンが天に戻る日	91 114
	24日	ウグウンブトゥチ(御願解き)	今年の御願の願い下げをする	91
	31日	トゥシヌユル(大晦日)	豚をつぶしてスーチカーを作り新年に備える	—

参考文献 『沖縄暮らしのしきたり読本 御願行事編』 著作：比嘉淳子・チームくがに

◆ヒヌカン(火の神様)・・・旧暦の御願行事の基本の「キ」といえば、おうちの台所にまつられたヒヌカンとお付き合いから。

昔の一家の主婦は起きたらまず、朝一番の水をヒヌカンにお供えするところから1日が始まりました。

神社が神様を、寺が仏様をまつるところであるように、おうちのなかでもヒヌカンは神様、トートーメー(※)は先祖(仏)をまつています。沖縄ではこの両方を、昔から大事にしてきました。

※沖縄の方言で「尊い御前」という意味で、先祖の位牌や仏壇、お墓などの総称。

◆二月の屋敷の御願・・・今年目標を決めて、土地の神様に願い立てをします。沖縄では「土地は神様からの借り物」だと考えられています。ですから日頃から借り物として大事に使い、清潔に保つことで、神様との円滑な共同生活ができるのだそう。

家や土地にはそれぞれに神様が配置されています。門なら門の神様、トイレにはトイレの神様(フールの神様)、台所にはヒヌカンというように、得意分野によって守備範囲を決めているとのこと。

◆清明祭(シーミー)・・・お墓の前に親族が集って大ピクニックを行います。

先祖に線香やウチカビ(※1)を供え、みんなで重箱料理を囲んで、墓前で大勢の子孫が笑い楽しく過ごすことで土地が活気づき、墓にヤナムン(※2)などの悪い霊を寄せ付けなくなるといわれています。

重要なポイントは、墓の土地の神様にも感謝をすることです。

※1 ウチカビは「先祖のお金」。シーミーやお盆、法事などのときに燃やして、子孫から先祖へ「送金」の供養をします。

※2 「嫌な物」「化け物」「悪霊」など。

◆旧盆・・・1年のなかでも最大のビッグイベントといえば旧盆。大切なのは、里帰りする親ファーフジ(先祖)を歓待し、気持ちよく過ごせるよう丁寧に接待すること。ウンケー(お迎え)からナカビー(中日)、ウークイ(お送り)まで3日間。いい子孫ぶりを発揮できれば、親ファーフジが子孫を守護する力がアップするといわれています。

お盆に限らず、トートーメーの前でため息をついたり心配事の報告は、親ファーフジが心配するので厳禁。

また、エイサーは元々、先祖を迎えるために行われるものです。

御嶽(うたき)

御嶽は神様のいるところです。おうちの近所、丘の上、山の中腹、海の近くの洞窟や岩など、様々なところにある自然神をまつている「神様の出張所」です。

「屋敷の御願」など、内々の御願は、おうちのヒヌカンと村役場である集落の御嶽で行います。斎場御嶽などは、拝みのプロで手順を踏んだ方以外の方が手を合わせるの、筋違いだそうです。

不思議な沖縄の風習・おまじない4選!

◆石敢當・・・道や家の突き当たりなどに設置される魔除けの石碑のことです。沖縄では、「いしがんとう」と読み、魔物(マジムン)が直進して侵入してくるのを防ぐため、T字路や三叉路などに置かれています。魔物は「石敢當」に当たると砕け散ると信じられています。

◆サングワー・・・沖縄で古くから伝わるお守りで、魔除けとして用いられます。ススキや桑の小枝、糸芭蕉の葉、紙などを輪結びにして作られます。お弁当や贈り物に添えたり、厄除けのために持ち歩いたりする習慣があります。

◆ゲーン・・・サングワーの進化系魔除け。ススキの葉を奇数枚を束ねて先を十字形に結んだもので、家や田畑あるいは農作物を守護するために、門口や屋敷、軒、畑などに刺したりします。

その他に祓い用としても使用されます。葬式の時に棺の上に置いたり、墓内を浄化したり、墓内に出入りする時に祓ったり、会葬者などを祓い魔を取り除いたりします。

◆マブイグミ・・・沖縄では「人にはマブイ（魂）が7つある」といわれています。

ビックリしたり、ひどくショックなことに遭遇すると、落ちてしまうといわれるマブイ。落ちたままにしておくと、腑（ふ）が抜けたような状態が続きます。落としたマブイはできるだけ早く拾い、体に収め直すのが鉄則。そのためのおまじないが「マブイグミ（マブイ込め）」です。自分で行うのではなく、家族など人にやってもらうのが一般的。ゲーンを使用する。

▼もっと沖縄の不思議・文化風習が知りたい！！という方は、なは一とより徒歩7分のジュンク堂書店那覇店まで♪▼

なは一と地域連携プロジェクト ジュンク堂書店那覇店×那覇文化芸術劇場なは一と

現在、ジュンク堂書店那覇店 1階カフェの向かいに「沖縄不思議ザダン怪」「ヒヌカンのまつり方」関連書籍フェアを期間限定で開催中！ぜひジュンク堂書店那覇店まで足をお運びください。

店内在庫は80万冊。検索機で自由に検索が可能です。

また著者をお招きしてのトークライブや握手会、朗読会など、多種多様なイベントを1年中通して開催しています。心が動く、世界が広がる運命の一冊に出会えるかもしれません。

取り扱い書籍 ※在庫切れになる場合もございます。

- ◆『現代実話集琉球怪談 現代実話集闇と癒しの百物語』 著者：小原猛
- ◆『いまでもグスクで踊っている 琉球怪談コレクション』 著者：小原猛
- ◆『琉球妖怪大図鑑 下』 著者：小原猛
- ◆『琉球怪談 琉球怪談デラックス』 作者：小原猛 漫画：太田基之
- ◆『琉球怪談 ゴーヤーの巻・マブイグミの巻・キジムナーの巻』 作者：小原猛 漫画：太田基之
- ◆『沖縄暮らしのしきたり読本御願・行事編』 著者：比嘉淳子、チームくがに
- ◆『幸せを呼ぶおきなわ開運術 おまじない・縁起物・ご利益スポット』 著者：比嘉淳子、「おきなわ開運術」編集部編著
- ◆『おきなわ暮らしの雑記帳』 著者：比嘉淳子
- ◆『ボクとおば〜のフシギな話（1）』 原作：ヤースー 漫画：杉作
- ◆『コヤッキースタジオ都市伝説 Lie or True あなたは信じる?』 著者：コヤッキースタジオ

ジュンク堂書店那覇店



那覇市牧志1丁目19-29
D-NAHA 地下1階～3階
＊なは一と関連書籍コーナーは
1階カフェの向かいにございます

美栄橋駅
徒歩1分



午前10時 - 午後9時
年中無休



098-860-7175



出演者プロフィール

◆小原猛（こはらたけし）

京都生まれ。沖縄で人生の半分以上を過ごす。カメラマン、コピーライター、旅行業、公民館職員などを経て作家に。著者に「琉球怪談デラックス」「沖縄怪異譚大全」「琉球妖怪大図鑑」など多数。TV「琉球トラウマナイト」、桜坂劇場市民大学講師。琉球新報小中学生新聞「りゅうPON！」にて「ふしぎうちなーショートショート」連載中。

◆ヤースー（コンビ名：トクモリザウルス）

沖縄出身。36歳。NSC 沖縄 1期生。祖母が、沖縄の霊媒師ユタとして生前活動し、自身も幼い頃から霊が視えた。幽霊視える芸人として活動中。祖母との思い出を、優しく、恐く、アットホームに語った怪談が漫画化され、沖縄書店大賞・沖縄部門「優秀賞」を受賞。

◆比嘉淳子（ひがじゅんこ）

作家。首里系那覇人の祖母から沖縄のしきたりを叩き込まれて育つ。薄れていく沖縄文化に危機感を覚えている一男一女の母親。『沖縄暮らしのしきたり読本御願・行事編』など多数の書籍を執筆、「NHK うちなーであそぼ」アニメ脚本など、沖縄文化に関する書籍の執筆、企画、監修など。双葉社刊「グソーからの伝言」は、私小説であり、映画化もされた。また御願だけでなく、栄養学・料理技術にも長けた琉球料理の奥深さに魅了され、琉球料理传承人を発起するなど、幅広く活動している。

◆金城保（きんじょうたもつ）

琉球神人（りゅうきゆうかみんちゆ）。父方のルーツは集落を切り開いた一門で地域の神事祭事を司っていた。自身の父も若かりし頃、道半ばで神人の道を断念した過去を持ち、また姉も霊的な存在が視えていた時期があり家族の日常的な会話の中に「霊」会話があった。16歳のときに交通事故で生死をさまよひ、植物状態と診断されるが意識をとりもどし、その日を境に霊が頻繁に現れ始める。霊障に苦しむ中、あるとき夢の中に神のような存在が現れ、神や霊との間に立つ役割として啓示を受け始める。その後神人になるべくさまざまな師匠に指示を受け、延べ10年の修行を積む。霊現象の最中に“人生の苦難は試練や学びである”と理解し「琉球神人」として独立。訪問者があるべき姿へと導く担い手となり、現在に至る。

◆コヤッキー

1983年12月19日、静岡県生まれ。会社員を辞め、同僚だったとーやとコンビを組みYouTubeチャンネルをスタート。現在、都市伝説系 YouTuber として、総登録者数は約240万人。メインチャンネル「コヤッキースタジオ」「秘密結社コヤミナティ」など。176センチ、血液型O。

◆松嶋初音（まつしまはつね）

東京都出身。MC・タレント。幼少の頃から遭難体験を経験し、自分の経験から得た実体験を語ることを得意とする。ゲームにも特化しており「東京ゲームショー」など大規模なイベントでのステージMCも担当している。怪談イベント【TEPPAN HORROR NIGHT 十八番怪談】主宰。ブランド【Hatsunex】も好評。YouTubeチャンネル【はつねちゃんねる】では怪異から「mgmg(もくもく)動画」、ゲーム実況まで幅広く配信中。